

原稿一枚で作る
クトゥルフ神話TRPG
オリジナルシナリオ
『逃避の執着』

ユキ・オトコ

探索者の友人は最近悩みを抱えている。彼は、医学研究所に所属しており医学の進歩に貢献している。

そんな研究所の所長が最近妙なことをしているという噂が立った。メンバーを選別し、特殊な研究班を構成して研究所に籠るようになったのである。リーダーは機密事項のため班員を絞っていると弁解しているが、反リーダー派はリーダーの独善的な秘密主義に反旗を翻し、研究内容の共有を求めている。

双方の仲介役を任された友人は気苦労で辟易しているようだ。その場は慰労会ということでお別れしたが、数日後思わぬ形で彼と再会することになる。

正確には、『彼の腕』と。友人はなぜ死ななければならなかったのか、この猟奇的事件の裏には何があるのか。

探索者は友人の恋人から真相を知りたいを手助けを求められる。

事件を追っていく探索者は研究所に隠された悍ましき研究を目の当たりするのである。

人物紹介

友人：被害者その一。体をバラバラにされその一部が発見されたことで注目を集める。

友人の恋人：友人の幼馴染で恋人な女の子。過去に何度か研究所を案内してもらったことがあるとかで、内部事情に少し詳しい。

研究所所長：この事件の首謀者と目される人物。若くしてその才を認められて研究所の所長に抜擢された経歴を持つ。表面上は穏やかだが研究所の重鎮だった副所長以下ベテランの研究員たちからは疎まれていたようだ。

あらまし。

研究所の所長は精神を病んでいた。原因は所内でベテラン勢から受けていた嫌がらせではなかった。

若くして癌が見つかり、除去に成功したものの再発による死への恐怖と不安感に苛まれていたのである。

自分が死んだら家族はどうなる。自分が描いた未来のすべてが黒いペンキで塗りつぶされてしまった気分だった。

そんなある時、所内の蔵書室から見つけた論文の題にひどく惹きつけられる。題名は『不死の探求～死の解放～』。人体のグール化、脳管への脳移植、クローンとの同化・憑依、肉体の強化、時への反逆……不死に対するあるとあらゆる魔術的、超科学的アプローチがまとめられたこの論文に所長は憑りつかれた。一部の研究者を巻き込み、彼らを実験台にしながら着々と成果を上げていく。

そんな実験過程の中で友人の体の一部が世間で発見される。探索者の友人は脳管の移植実験に被害者となっており、不要となった手足が破棄されたのである。

探索者たちはこうして得体のしれない実験を繰り広げた魔窟へと足を踏み入れる。

グールと化した元研究者、脳管から語りかける友人、大量のクローンとそれを素体とした合成獣、時の領域を犯した研究者の隔離部屋など数多の試練の果てにたどり着いた先に探索者が見るものは、妻と娘を贄として捧げ、自分を神の児として再生させるため黒い子山羊に飲み込まれて創り直されている所長だった。

探索者の妨害むなしく、神の児として所長が現世に降り立つ直前、なぜか笛の音色が響き渡り彼は唐突にこの世から消滅してしまう。彼は神の端くれとしてアザトースの玉座に誘われてしまったのだ。

原稿一枚で作るクトゥルフ神話TRPGオリジナルシナリオ『逃避の執着』

<http://p.booklog.jp/book/91092>

著者：ユキ・オトコ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/cthulhutrpg/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/91092>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/91092>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ